

2. 上海市張江ハイテクパーク（南区）の発展計画と構想

華東師範大学都市と地域企画研究院・資源環境科学院院長 曾 鋼 教授

1999 年から、「張江にフォーカス」の戦略を全面的に実施して以来、上海市張江ハイテクパークは土地開発、プロジェクト誘致、産業チェーンの形成などの点において、著しい成果を挙げた。集積回路、ソフトウェア、バイオ医薬の 3 大ハイテク産業集積が形成され、中国ハイテク産業の発展に重要な役割を果たしている。また、張江ハイテクパークはイノベーションとインキュベータの展開による創業への促進効果が見られ、国内・外における知名度の急上昇に結びついたといえる。

2004 年 5 月 14 日に「張江ハイテクパークトップチーム活動会議」が開かれ、チームリーダーの韓正氏（上海市市長）は「張江ハイテクパークはハイレベルのスタートラインの設定とフォーカス戦略の深化を通じ、科学技術イノベーションの牽引役や科学教育による上海振興のモデルになる」と指摘した。また、「2010 年（上海万博）までに、張江は環境、設備、交通、情報、システム、創業気風などの面に努力し、ハイテク産業の集積と周辺地域の牽引役や上海・中国のオリジナリティを有するハイテクパークになる」という発展目標が出された。上海政府は張江地域の発展を促進するため、張江の土地開発面積を従来の 25k m²から 42.66k m²に拡大することを決定した。

張江南区は張江ハイテクパークの持続的成長力、国際化、近代的都市の建設を促進するため、「全体計画、南区と北区のバランス、効率性と能力の優先、最適の構造、生態・環境問題の考慮、地域間の協力」などの発展基本理念を策定した。また、ブロックごとに発展する戦略を採用し、「2010 年までに、光と電子の一体化などのイノベーション産業区、バイオと近代農業区、Headquarters 区、科学教育サービス区、ビジネスと国際住宅団地、生態公園区などの地域づくり、特に、バイオ医薬産業、不動産産業などを重点的に発展させる」という開発構想を打ち出している。発展計画によると、張江南区 17k m²の土地に研究開発機関と近代化教育、グローバル企業の本部と生産性を促進するサービス業、インキュベーションとハイテク産業、都市の副都心と商業街・国際住宅地などの 4 大ブロックを建設するのである。ブロック間が交通、情報、人材流動を通じ、お互いの交流や発展を促進する。また、道路、緑地で分割された各ブロックは都市の生態・緑地、都市の管理、都市文化と共に、オリジナリティを有し、周辺地域と協力・共生発展を促進する近代都市生態システムを構築しつつある。

一方、張江ハイテクパークの発展条件を創出するためにはイノベーション能力の育成、生活環境におけるインフラ建設、総合サービス能力のアップ、周辺地域発展に対する牽引力、外部環境の最適化などの面で、上海市「張江にフォーカス」戦略をさらに進めて行くべきである。

上海市张江高科技园 南区发展规划思路

曾 刚

华东师范大学资源与环境科学学院

一、中国高科园兴起的背景

1.1 高科园设立的指导思想

与霍华德（E.Howard）田园城市理论不同。

- 新中国“条线”管理思想的延续；
- 新中国对城市生产性功能改造思想的延续。

1.2 高科园发展轨迹

- 空间：地域范围不断扩大；
- 功能：由单一工业开发向综合新城开发方向发展；
- 生产：由引进加工工业为主向加强制造、技术二次开发能力转变。

图1：张江在长江三角洲的位置

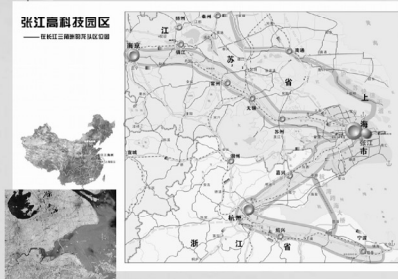


图2：浦东新区功能区划分建议



图3：张江高科技园在浦东的地位



二、张江高科园发展阶段

2.1 “聚焦”前（1992—1999年）

- 1992年7月，张江高科技园区正式成立。至1999年，张江高科园一直处在大规模开发前的准备阶段。

2.2“聚焦”后（自1999年起）

- 1999年上海市委、市政府开始实施“聚焦张江”战略，将资源、政策等优势高度集中，希望把张江建设成创新人才、研究机构、孵化企业以及中介组织的聚集区，建设成推进体制创新和科技创新的载体。这片曾经寂寥冷清的乡间旷野，如今成了集成电路、软件、生物医药等三大产业飞速发展，被业内人士誉为“北有中关村，南有张江园”的中国著名高科技园区。

表1：张江建园与聚焦以来各项经济指标对照表

年份	引进项目（个）	吸引投资（亿美元）		完成固定资产投资（亿元）	产值（亿元）	税收收入（亿元）	产业用地开发面积（平方公里）
		外资	内资				
1992-1998	89	8.5	1.8	42.9	85.8	2.31	2.8
1999-2002	476	65.7	14	244.5	154.4	15.74	7.2

表2：截至2002年张江高科技园区孵化项目情况

	项目数量		吸引投资额	
	项目数量（个）	占%	千美元	占%
孵化项目	152	100.0	71,870	100.0
生物医药	43	28.3	20,690	28.7
信息技术	83	54.6	39,470	54.8
其它	26	17.1	11,810	16.4

图4：2002年大上海与大北京地区企业原料（半成品）来源地分布（%）

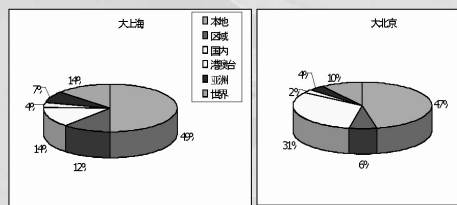
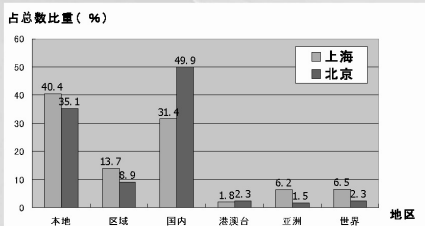


图5：2002年大上海与大北京地区企业成品销售市场分布（%）



三、张江南区发展规划（1）

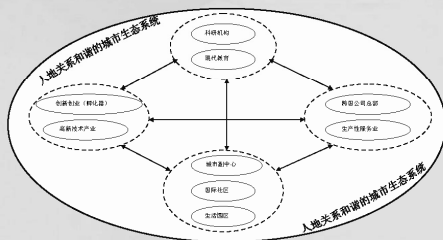
3.1 规划背景

- （1）总体目标
把张江建成浦东开发开放的新标志、科技创新的引领区、实施“科教兴市”战略的一面旗、世界一流水平的高科技园区。
- （2）发展任务
突出科教结合和产学研一体化，以生物医药产业、信息产业、创意产业为主导，带动现代设施农业、光电一体化、生产性服务业的发展。集中体现研发创新、孵化创业、转化辐射、机制辐射四个方面的主体功能。把张江建成生态环境优良、在世界上有重要影响的跨国公司（地区）总部云集之地、多种文化交融的乐土、创新创业基地和技术、产业辐射基地。
- （3）指导思想
南北互动、科教为先、以人为本、生态为基、区镇联动

图6：张江高科园北区规划



图7：张江高科技园区功能组团



三、张江南区发展规划（2）

3.2 规划方案

张江南区功能区：

- 光电一体化等创新产业区
- 生物工程及现代设施农业基地
- 跨国公司服务中心
- 科研教育服务区
- 商住区与国际社区
- 生态公园

图8：张江高科园总体规划

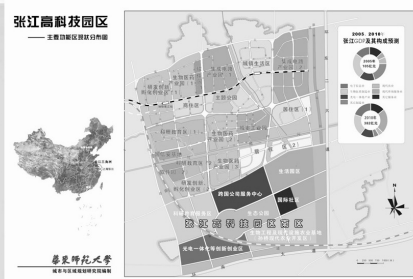


表3：2005-2010年张江高科技园区产业规模及其结构预测

指 标	2005 年		2010 年	
	增加值, 亿元	比重, %	增加值, 亿元	比重, %
GDP	105.50	100.00	391.82	100.00
电子信息业	16.20	15.36	77.21	20.22
生物医药制造业	25.92	24.57	74.52	19.52
光电一体化	15.50	14.69	50.00	13.10
其它制造业	21.23	20.12	21.63	5.67
现代农业	8.00	7.58	12.00	3.14
现代咨询服务	5.55	5.26	92.11	24.12
房地产业	11.10	10.52	27.65	7.24
其它服务业	2.00	1.90	26.70	6.99

表4：张江高科技园区南区用地平衡表

序号	用地名称	面积 (ha)	比重 (%)
1	科研教育服务区	200	11.3
2	光电一体化等创新创业区	250	14.2
3	生物医药及现代设施农业基地	250	14.2
4	跨国公司服务中心、城市副中心	50	2.8
5	国际社区、生活园区	200	11.3
6	生态公园、公共绿地	250	14.2
7	发展备用地	166	9.4
8	道路河流	400	22.6
	合 计	1766	100.0

四、中国高科园发展展望

4.1 产业转型

- 中国高科园产业转型已经开始，在产业升级方面将借鉴台湾新竹的成功经验。

4.2 环境条件建设

- 中国高科园研发产业发展的条件尚待改善
- 科教体制改革滞后，影响了创新源建设；
- 风险资本、股市创业板尚待建立；
- 知识产权保护、商业诚信意识尚待加强。

表5：北京、上海与欧洲、东南亚的区域创新指标对比 (%)

创新过程	投入				产出			
	研发 ¹	专利 ²	小计	开展研发活动的企业 ³	研发产品力 ⁴	生产产品力 ⁴	生产产品力 ⁴	生产产品力 ⁴
区域								
北京	55.6	48.3	64.3	69.8	47.6	44.0	38.0	20.4
上海	56.3	47.6	89.7	82.9	74.6	69.0	58.3	51.0
欧洲 ERES	78.4	24.1	78.1	69.5	62.6	—	49.8	—
新加坡	29.7	7.8	39.0	30.2	29.4	19.5	12.3	15.7
马来西亚	26.6	5.8	42.4	34.6	38.7	20.9	12.6	16.2
美国	15.1	2.2	17.8	13.9	12.8	7.5	4.7	5.6

¹ 开展研发活动的企业的比重
² 申请专利的企业占比重 (这里 ERES、新加坡、马来西亚、和美国的数值是指调查日期
 的近三年平均值)
³ 近三年来推出新产品、或改良产品、或进行工艺改造的企业企业的比重
⁴ 新产品 (或改良新工艺的产品) 占销售额的比例超过 25% 的企业
 资料来源：2003 年北京中关村高新技术产业创新调查、2003 年上海浦东高新技术产业创新调查、
 1995-1999 年欧洲区域创新研究调查、2000 年新加坡经济研究局 (ERS) / 新加坡国家 (N-T) 研
 究中心 (NLS-N-T) 国家创新研究调查、2000 年新加坡调查、2000 年美国研发创新调查